

# 精神保健福祉センター一報

令和2年度

奈良県精神保健福祉センター

# 目 次

1	職 員	2
2	精神保健福祉相談	2
3	教 育 研 修	3
4	普 及 啓 発	4
5	自 殺 対 策	5
6	依 存 症 対 策	11
7	災 害 対 策	12
8	精神医療審査会事務	13
9	技 術 支 援	14
10	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の判定	15

# 1 職員

令和3年4月1日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	保 健 師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	5 (3)	3	1	1 (1)	2 (1)	14 (5)

\* ( ) は会計年度任用職員

## 2 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、電話や面接による精神保健福祉及び精神障害者福祉に関する相談及び支援を実施しています。

令和2年度における精神保健福祉相談実績延べ件数は、表1から表7のとおりです。

表1 相談内訳

	件数	%
所内相談	133	30.6
電話相談	295	68.0
訪問指導	6	1.4
計	434	100.0

表2 利用状況

	件数	%
新 規	256	59.0
継 続	178	41.0
計	434	100.0

表3 相談者

	件数	%
本 人	236	54.4
家 族	137	31.6
本人家族	12	2.8
その他	49	11.3
計	434	100.0

表4 相談経路

	件数	%
医療機関	17	3.9
保健所	8	1.8
市町村	7	1.6
関係機関	75	17.3
センターホームページ	27	6.2
広報	3	0.7
一般情報	195	44.9
その他不明	102	23.5
計	434	100.0

表5 年齢別・性別

性別 年齢	男		女	
	件数	%	件数	%
10歳未満	0	0.0	1	0.6
10～19歳	6	2.3	13	7.5
20～29歳	36	13.8	48	27.7
30～39歳	44	16.9	27	15.6
40～49歳	78	29.9	33	19.1
50～59歳	66	25.3	30	17.3
60～69歳	14	5.4	9	5.2
70歳以上	7	2.7	5	2.9
不明	10	3.8	7	4.0
計	261	100.0	173	100.0

表6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	153	35.3
老人精神保健に関すること	3	0.7
社会復帰に関すること	1	0.2
アルコール依存に関すること	5	1.2
薬物依存に関すること	49	11.3
ギャンブル依存に関すること	97	22.4
ネット・ゲーム依存	4	0.9
思春期に関すること	13	3.0
心の健康づくりに関すること	18	4.1
うつ・うつ状態に関すること	10	2.3
摂食障害に関すること	12	2.8
てんかんに関すること	4	0.9
その他	65	15.0
計	434	100.0

表7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	243	56.0
情報提供	67	15.4
他機関紹介	10	2.3
センター来所予約	114	26.3
計	434	100.0

### 3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しています。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
アルコール関連問題対策研修会	アルコール関連問題を抱える人やそのご家族の生きづらさを理解して具体的に支援する	ハートランドしぎさん 臨床教育研修センター長 長 徹二氏	26名	令和2年 9月8日
ゲートキーパー指導者養成研修	①これからの自殺対策を考える ②コロナ禍のリスクアセスメントとゲートキーパーの役割 ③ゲートキーパーが積極的に活躍する街づくりを考えてみよう	①精神保健福祉センター 職員 ②帝塚山大学心理学部心理学科教授 神澤 創氏 ③精神保健福祉センター 職員	21名	令和2年 10月20日
災害時精神保健医療従事者研修会	突然の死（災害・事故・自死など）における遺族支援について	神戸赤十字病院 診療内科部長 村上 典子氏	20名	令和2年 10月22日
精神障がいを理解するための研修会	①窓口で気づいてほしい精神疾患の症状と支援の考え方 ②地域で生活する精神障害者の障害特性と具体的な名支援	①奈良県精神保健福祉センター 嘱託医 中西 葉子 ②訪問看護ステーションみのり 統括所長 小瀬古 伸幸氏	40名	令和2年 12月3日
災害時精神保健医療従事者研修会	災害時において苦境を乗り越える力を支援する	兵庫県こころのケアセンター センター長 加藤 寛氏	19名	令和3年 2月25日

自殺未遂者支援研修会	①自殺未遂者の支援と対応～未遂者支援の実際～ ②事例検討	堺市こころの健康センター 木下 大輔 氏	8名	令和3年 3月9日
------------	---------------------------------	-------------------------	----	--------------

#### 4 普及・啓発

県内関係諸機関において精神保健福祉に関する知識等を啓発しています。

##### ゲートキーパーパネル展示

広く県民にゲートキーパーについての理解を深めてもらうことを目的とし、以下のとおり、ゲートキーパーパネル展を実施しました。

実施日	令和2年8月31日～9月4日
会 場	屋上ギャラリー
内 容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚）

実施日	令和2年9月15日～30日
会 場	県政情報サロン
内 容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（6枚）

実施日	令和2年9月8日～13日・令和3年3月14日～31日
会 場	奈良県図書情報館
内 容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） ・普及啓発グッズ(ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット)の配布

## 5 自殺対策事業

奈良県では、平成29年度に誰も自殺に追い込まれることのない「健康な心で暮らしやすい奈良県」を実現するために「奈良県自殺対策計画」を策定しました。本計画に基づき、行政や関係機関、民間団体などが連携を図りつつ、保健、医療、福祉、教育、労働、法律等に関わる総合的な取り組みを実践し、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施していきます。

### (1) 相談事業

#### ① 電話相談「なら こころのホットライン」（開設時間：平日9:00～16:00）

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談延べ件数	18	1145	1163

#### ② 面接相談

面接による、自殺予防相談、自死遺族相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	4	3	7
相談延べ件数	16	3	19

#### ③ 自死遺族への支援

自死遺族の方からの電話では、自助グループや当センターでの自死遺族支援に関する情報提供を求めて、電話をかけてこられる方がたくさんおられます。当センターでは、自死遺族の方に対する面接を行っています。また、奇数月第2月曜日に、「奈良いのちの電話」が行う自死遺族支援「よりそいの会あかり」の“グリーフスペースさくらい”を、自死のご遺族同士が語り合う場として提供しています。

※自死遺族支援“よりそいの会あかり”については[http://www.nara-inochi.jp/ml\\_6\\_1.html](http://www.nara-inochi.jp/ml_6_1.html)を参照下さい。

#### ④ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣し、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	73
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	74

### (2) ゲートキーパー養成講座

#### ① 市町村別ゲートキーパー養成講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のこころの変調に「気づき」、話を「聴き」、必要な支援に「つながり」、そして地域で「見守る」役割を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に、市町村が主体となり実施しています。

表8

市町村名	H30年度				H31年度				R2年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市	1	140			1	154	6	184				
大和高田市												
大和郡山市	1	21	1	73	2	29	1	19	1	20		
天理市	1	35			1	28					1	21
橿原市	2	27			1	11					2	34
桜井市												
五條市	1	37	1	21			2	90	1	33		
御所市							1	58			1	39
生駒市	1	20			1	20	2	160			2	143
香芝市							3	224				
葛城市												
宇陀市	1	12					2	132				
山添村												
平群町					1	45						
三郷町					1	144						
斑鳩町	1	24			1	28	1	45			1	21
安堵町			1	17								
川西町							1	30			1	23
三宅町	1	17									1	8
田原本町												
曾爾村												
御杖村					1	38						
高取町			1	25								
明日香村			6	52								
上牧町									1	77		
王寺町												
広陵町					1	35						
河合町												
吉野町												
大淀町												
下市町												
黒滝村												
天川村												
野迫川村												
十津川村												
下北山村					1	11	1	10				
上北山村												
川上村												
東吉野村												
合計	10	333	10	188	12	543	20	952	3	130	9	289

\*その他（民生児童委員・ボランティア等）

②関係機関・民間団体等主催のゲートキーパー養成講座開催状況

表9

関係機関名	H30年度		H31年度		R2年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良県教育委員会	2	395	1	53	1	90
奈良県立朱雀高校						
奈良県職員	1	130	2	263	3	434
奈良県消防学校	1	48	1	69	1	56
大和郡山市地域包括支援センター						
白鳳短期大学	2	80	1	39	1	39
県内市教育委員会	1	75				
県内小中学校	1	70				
県内看護学校	1	21				
奈良県理容生活衛生同業組合			1	45		
奈良女子大学			1	80		
奈良森林管理事務所			1	27		
社会福祉法人					1	52
合 計	9	819	8	576	7	671

③ゲートキーパー指導者養成研修

平成24年8月に自殺総合対策大綱が見直され、地域での実践的な取り組みの必要性が掲げられ、各地域での人材育成や事業展開が求められたことを受け、平成25年度から、各地域でゲートキーパーを養成する「ゲートキーパー指導者の育成」を行っています。

ゲートキーパー指導者養成研修は、令和2年度に1回開催し合計21名が受講しました。

(3) 自殺未遂者支援

自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつです。人材育成や関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指し、研修を実施。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
自殺対策人材養成研修 講義「自殺未遂者の支援と対応」 講師 堺市こころの健康センター いのちの応援係 木下大輔 氏	令和3年3月9日	8名	県内市町村、 保健所職員

(4) ホットラインの状況

今後の相談体制の充実を図るため、当センター「ならこころのホットライン」の受電状況の詳細を分析しました。



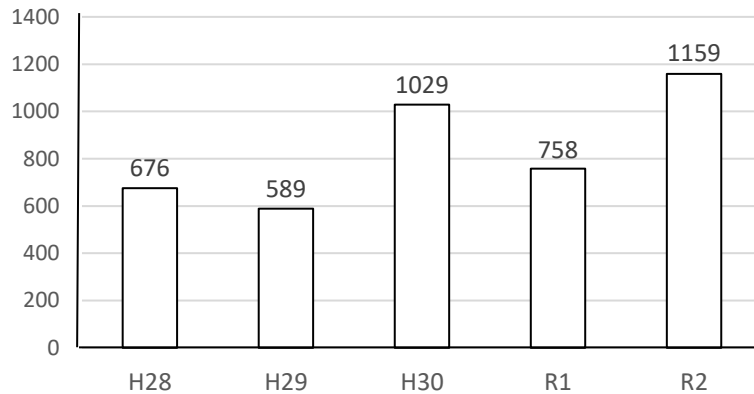
## 自殺予防に関する相談内訳

### ① 相談者数の年次推移

ホットラインへの相談電話（自殺予防）は、平成28～令和2年度の5年間で4211件でした。そのうち面接相談につながったのは16件（0.4%）でした。また、令和2年度では、1159件の電話相談のうち、7件（0.6%）でした。

平成28～令和2年度の相談者数の推移をみると、増減はあるものの、全体的には増加傾向が見られます。

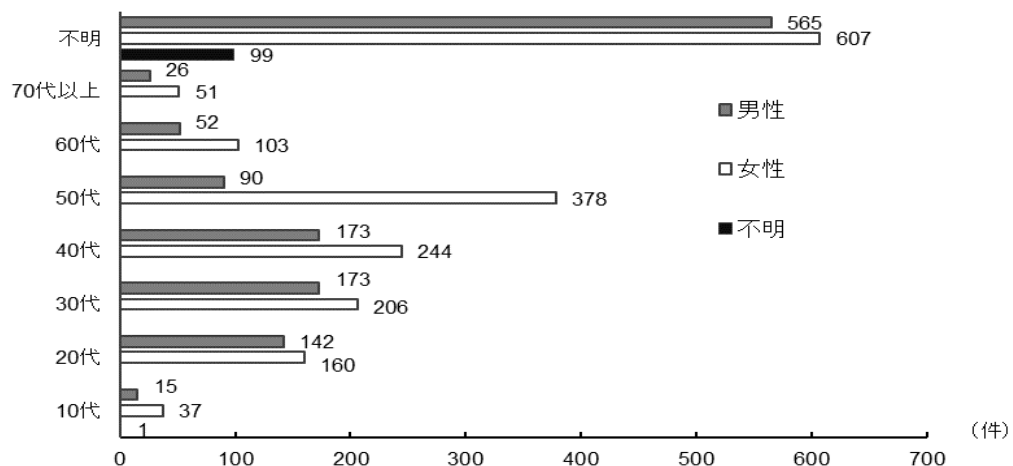
図1 自殺予防電話相談の年次推移  
(H28～R2年度)



### ② 相談者の性別・年代別内訳

過去5年間（平成28～令和2年度）の内訳は、性別では男性1236件（39.6%）、女性1786件（57.2%）、性別不明101件（2.4%）でした。年代別では、男性は30代と40代が（14.0%）が最も多く、次いで20代（11.5%）となっています。女性では、50代（21.2%）が最も多く、次は40代（13.7%）という結果になっています。なお、性別不明には無言電話等で性別を識別できない方が含まれています。

図2 年代別・性別相談件数(H28年～R2年度)

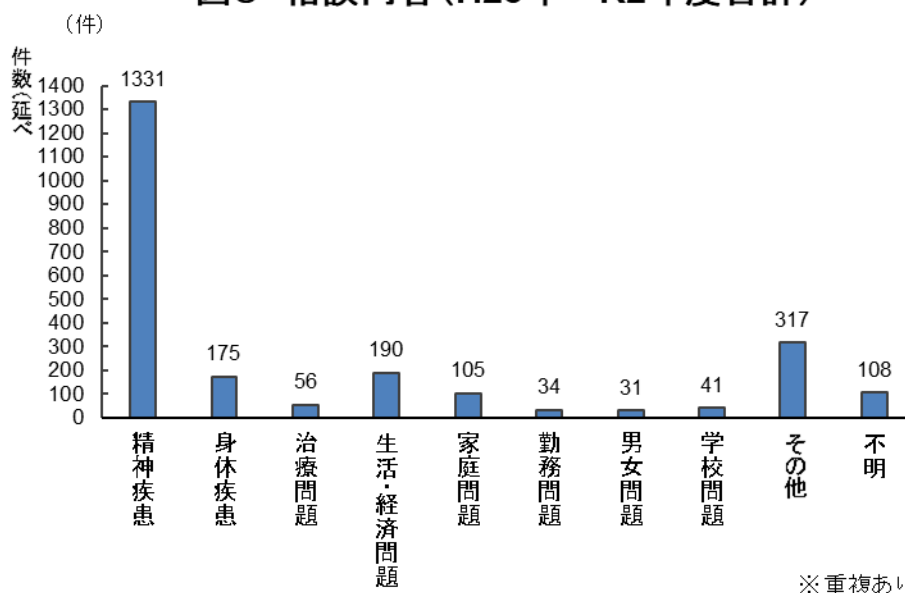


### ③相談内容

相談内容は相談種別ごとに計上し、一人の相談者の相談内容が複数に及ぶ場合には、主たる内容と考えられるものを2つまで計上しました。

主に図3のとおり相談種別の順位では、「精神疾患」が1331件（55.7%）と最も多く、次いで「生活・経済問題」190件（8.0%）、「身体疾患」175件（7.3%）となっています（その他、不明を除く）。

図3 相談内容(H28年～R2年度合計)



#### ④自殺念慮及び自殺未遂歴

平成25年度から、自殺リスクの評価についての精度を高める為に、以下の11の自殺の危険因子をもとに自殺念慮の程度を判定しました。①過去の自殺企図・自傷歴、②喪失体験、③苦痛な体験、④失業問題・経済問題・生活問題、⑤精神疾患・身体疾患の罹患およびそれらに対する悩み、⑥ソーシャルサポートの欠如、⑦自殺企図手段への容易なアクセス、⑧自殺念慮・希死念慮、⑨望ましくない対処行動、⑩危険行動、⑪その他、のうち当てはまる因子が0～2の場合を自殺リスク軽度、3～5を中等度、6～8を高度、9以上を重度と判定しています。

過去5年間の相談電話における自殺リスクでは、念慮あり（リスク高）が12件（0.3%）、念慮あり（リスク中）が125件（3.0%）、念慮あり（リスク低）が3,450件（81.9%）となっています。また、自殺未遂歴については、「あり」と答えた方は90件（2.1%）でした。

表10 自殺念慮（平成28～令和2年度）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
リスク高	3	2	1	0	6	12
リスク中	29	24	44	8	20	125
リスク低	258	431	878	750	1133	3450
不明	386	132	106	0	0	624
合計	676	589	1029	758	1159	4211

表11 自殺未遂歴（平成28～令和2年度）

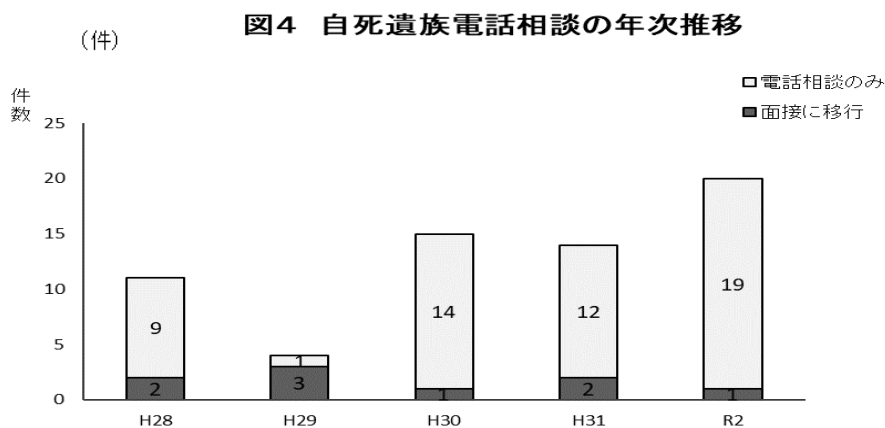
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
自殺未遂歴あり	37	13	16	8	16	90
自殺未遂歴なし	54	17	80	11	15	177
不明	585	559	933	739	1128	3944
合計	676	589	1029	758	1159	4211

## 自死遺族に関する相談内訳

### ① 相談者数の年次推移

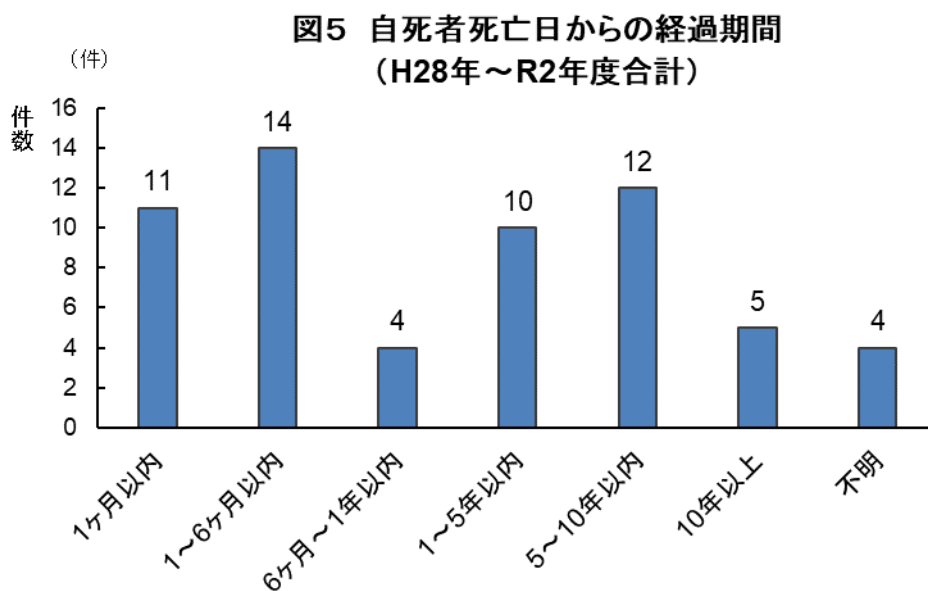
ホットラインの相談電話(自死遺族)は、過去5年間で58件でした。そのうち面接相談につながったのは12件(20.7%)でした。また令和元年度では、12件の電話相談のうち2件(16.7%)でした。

過去5年間の相談者数の推移をみると、平成29年の落ち込みが目立っています。



### ② 自死遺族の方からの来電までの経過期間

自死者が亡くなってから、電話相談に至るまでの期間は1年以内が28件(51.9%)で、うち1ヶ月以内が15件(27.8%)でした。



## まとめ

これまで、5年間に及ぶホットラインに寄せられた相談の特徴について述べてきました。延件数4,211件（自死遺族の相談件数も含めると4,269件）もの相談を受けており、相談内容としては、うつ病などの精神疾患に関するものが最も多く見られましたが、その中でも多様な要因が混在していることが明らかになりました。ホットラインでは、自死遺族や自殺を考えるほど悩んでいる方を対象としていますが、それ以外に日常に生きづらさを感じている方からの電話も多く、ホットラインに求められていることも多岐にわたっています。今後より一層相談体制の整備をはかり、周囲の理解を促すなど啓発活動に取り組んでいくことが必要であると考えられます。

## 6 依存症対策事業

### ①薬物依存症治療回復プログラム

平成28年度より薬物依存症者の回復を支援するため、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した集団による回復プログラムを実施しています。令和2年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

第1回	令和2年 10月14日	なぜ薬物やアルコールをやめなきゃいけないの？
第2回	10月28日	あなたのまわりにある引き金について
第3回	11月11日	あなたのまわりにある引き金について
第4回	11月25日	あなたのなかにある引き金について
第5回	12月10日	あなたのなかにある引き金について
第6回	令和3年 3月10日	あなたのなかにある引き金について 依存症ってどんな病気？
第7回	3月24日	依存症ってどんな病気？
参加者数（延べ）	15名	

### ②ギャンブル依存症（当事者）ミーティング

平成30年度より試行的に、ギャンブル依存症者に対して「SAT-G」を用いた集団による回復プログラムを実施しています。令和2年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

当事者グループ

第1回	令和2年10月21日	あなた のギャンブルについて整理してみましよう
第2回	令和2年11月18日	私の道しるべ
第3回	令和2年12月16日	引き金から再開にいたる道すじと対処
第4回	令和3年3月17日	回復への道のり
参加者数（延べ）	12名	

### ③ギャンブル依存症（家族）ミーティング

平成31年度より試行的に、ギャンブル依存症者の家族に対して回復プログラムを実施しています。令和2年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

#### 家族グループ

第1回	令和2年10月27日	コミュニケーションスキル
第2回	令和2年11月17日	コミュニケーションスキル
第3回	令和2年12月15日	あなた自身の生活を豊かにする
第4回	令和3年3月16日	あなた自身の生活を豊かにする
参加者数（延べ）	19名	

## 7 災害時対策事業

第1回災害時精神保健医療福祉従事者研修会	「突然の死（災害・事故・自死など）における遺族支援について」	神戸赤十字病院 心療内科部長 村上 典子 氏	20名	令和2年 10月22日
第2回災害時精神保健医療福祉従事者研修会	「災害時において苦境を乗り越える力を支援する」	兵庫県こころのケアセンター センター長 加藤 寛 氏	19名	令和3年 2月25日

## 8 精神医療審査会の開催

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。令和2年度の審査状況は、表12のとおりです。

表12 精神医療審査会審査状況

区分	届出等の 審案件数	審査 数	審査結果					計	取下げ	退院等審査 要件の消失	審査中	未審査
			入院等 は適 当	他 形 移 行 が 適 当	の 態 度 が 適 当	入院 の 不 適 当	入院 継 続 要 不 適 当					
医療保護入院の届出 法第33条第1項 法第33条第3項	2,686	2,519	2,517				2,517			169		
定期の 病状報 告	措置入院者	5	7	4	1		5					
	医療保護入院者	982	899	899			899			83		
	任意入院者											
退院の 請求	措置入院者	( ) 6	( ) 4	( ) 4	( )	( )	( 0 ) 4	( )	( )	( ) 1	( ) 1	
	医療保護入院者	( 1 ) 71	( 1 ) 52	( 1 ) 52	( )	( )	( 1 ) 52	( ) 12	( ) 3	( ) 2	( ) 2	
	任意入院者	( )	( )	( )	( )	( )	( 0 )	( )	( )	( )	( )	
処遇改 善請 求	措置入院者	( )	( )	( )			( ) ( 0 )	( )	( )	( )	( )	
	医療保護入院者	( ) 7	( ) 3	( ) 3			( ) 3	( ) 2	( ) 2	( )	( )	
	任意入院者	( )	( )	( )			( ) ( 0 )	( )	( )	( )	( )	
合計	3,757	3,484	3,479	1		3,480	14	6	254	3		

※審査結果の計=届出数の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません

## 9 技術支援

### ① 講師派遣

関係機関からの依頼により、関係機関職員を対象とした研修会及び講演会などへ講師派遣を行いました。

研修名	主催者	講師	実施日
吉野地区保護司会 令和2年度第1回自主 研修会	橿原市	奈良県精神保健福祉センター 保健師、精神保健福祉相談員	令和2年 11月27日

- ① 対面支援 3件（市町村・関係機関）  
（対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの）
- ② 電話コンサルテーション 32件（市町村・関係機関）  
（対象機関の職員からの電話による相談）
- ④ 個別コンサルテーション 1件（市町村）  
（対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談）

## 10 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の交付

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害にあることを認定して交付することにより、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進を図ることを目的としている。また、自立支援医療（精神通院）は、治療のため、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対して医療費の自己負担を軽減する制度。

令和2年6月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療（精神通院）受給者数及びその詳細は、以下のとおりです。

表13 精神障害者保健福祉手帳所持者数 令和2年6月末現在

等 級	1 級	2 級	3 級	合 計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,853	7,995	3,371	13,219

表14 自立支援医療（精神通院）受給者数 令和2年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康 保 險	後期高齢者医療	生活保護	合 計
	本人	家族				
受給者数	3,169	4,001	8,113	1,324	2,867	19,474

表15 自立支援医療 ICDコードカテゴリ別受給者数 令和2年6月末現在

ICDカテゴリ	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	878
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	578
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,359
気分障害	F3	7,454
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	1,679
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	89
成人の人格及び行動の障害	F6	114
精神遅滞	F7	268
心理的発達障害	F8	1005
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	532
特定不能の精神障害	F99	8
てんかん	G40	1,510
計		19,474



## 奈良県精神保健福祉センター所報（令和2年度）

---

令和4年3月発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター  
〒633-0062 奈良県桜井市粟殿1000

電話：0744-43-1474

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp